

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和3年2月10日

事業所名: 放課後等デイサービス青空

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	0		
	2	職員の配置数は適切であるか	7	0	法定職員配置を適正に行っています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	1	コロナ対策として、活動終了時に、アルコール消毒を行っています。	限られたスペースをいかに活動に合わせられるか。また公共インフラの利用も合わせて活動を作ります。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	1	努力目標と位置付けている。	全職員参加の職員会議を開催し、改善点を見出し、改善していきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	0	保護者向け評価表を参考にし、職員としての意識向上をもつ。	保護者からのニーズを理解し、至らない点を改善していきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	0		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	7		法人独自の第三者を交えた評価を行う。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	内部研修の機会を設けています。	次年度では、定期的な研修(保育技術・発達・障がい)を計画。
適切	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	利用児と保護者のニーズ。客観的な視野を持つと努めている。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	0	現在は独自のアセスメントシートを採用。	標準化された、という点においては改善が必要か、と考える。要検討。
	12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	0	個別活動と集団活動に区別して、具体的な支援を計画している。	
	13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	7	0	必要な支援として、計画を立てています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	0	職員全員の立案を心掛けています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	0	活動の意義を捉えて、活動の計画をしています。	

は 支 援 の 提 供	16	(放課後等デイサービスののみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	0	平日とは違う休日、長期休暇の活動を設定、計画しています。	
	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	成長過程での課題を捉え、個別活動、集団活動の必要性を捉えます。	
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	1	職員の連携を図るため、時間が許す限り、打ち合わせを行います。	
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	0		その日の反省時間を取れるように、働き方改革を検討しています。
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	保育日誌の記録。	来年度は、個別の支援記録を書くことを努力目標に掲げます。
	21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	前期・中期・後期とモニタリングを行っています。	活動中の支援においては、毎日子どもの様子を見ながら、臨機応変に支援することを目標にしています。
	22	(放課後等デイサービスののみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	7	0	ガイドラインが作成される前から、同様の活動を行ってきました。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	0	ケースごとに担当の者が出席できるように配慮しています。	
	24	(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	/	/		
	25	(放課後等デイサービスののみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7	0	学校からの情報は、基本的に保護者からの伝達であり、改善を求めています。	今後も、自立支援協議会子ども部会で、現状の報告と、連携の在り方を、意見していきます。
	26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	/	/		
	27	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	/	/		
	28	(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	/	/		
	29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	/	/		
	30	(放課後等デイサービスののみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7	0	法人内センター卒園児の場合、保護者の了解を得て、情報の共有をしています。	

護者との連携	31	(放課後等デイサービスのみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7	0	過去に、保護者の了解を得て、情報共有したケースがあります。	
	32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	1	法人常勤の発達相談員や相談支援専門員との連携で、研修機会あり。	次年度も、研修の機会を持ち、発達や障害について学ぶ機会を持ちたいと計画しています。
	33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	2	親子イベントや法人のまつりなどで、利用児のきょうだいなどとの触れ合いをしています。	今年度の実施は、コロナの影響で未実施です。また児童館との交流は努力目標です。
	34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	7	0	自立支援協議会放デイ事業所交流会に参加。	
	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	保護者とのコミュニケーションを取るよう努めています。	
	36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	5	2	職員研修で、発達や障害について、知識を得るようにしています。	子どもの悩みに対して、成長の過程を共有し、不安を取り除ける会話を目標にしています。
保護者への説明責任等	37	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	1	契約書や重要事項説明書。	より丁寧な説明の機会が必要と感じています。
	38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	7	0	前期・中期・後期とモニタリングを行って、支援計画書の作成を行っています。	
	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	0	面談の機会を持つようにしています。	
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	2		コロナ禍において延期されていますが、保護者交流会の実施を計画しています。
	41	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	真摯に受け止め、早期の解決を目標に対応しています。	常に、ベストな対応であるべき、と心掛けて対応しています。
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	月1回のお便りや行事予定表の発行。	保護者のニーズからは、もっと活動の報告が欲しい、と要望されているように感じ、改善を検討したい。
	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7	0	最重要課題として取り組んでいます。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	文章の書き方など、最善を工夫しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	1	餅つき(今年度は未実施)しめ縄飾りを実施。	地域住民を招待し、子どもたちの活動を理解していただくことを毎年計画。
	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	0	7		今年度は、未実施が多くなった。来年度の課題として、取り組んでゆく。
47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	0	7		月1回の『訓練の日』を制定し、実施していく。	

非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	0	7	現在、対応見なし。	
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	2	ヒヤリハットとして、職員に伝達。	文章化をし、長く共有できるようにしていく。
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	年1回の虐待・人権研修を行っている。	
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか	0	7	現在、対応見なし。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和3年2月10日

事業所名:放課後等デイサービス青空

保護者等数(児童数) 24人(26名)

回収数 15

割合 63 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	1	0	1		施設フロアには、パーティションにより、部屋の分割を行うことができ、さまざまな使い方ができます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	11	1	0	3		職員数は、適正に配置されています。研修を重要課題と位置づけ、職員の専門性の向上を図ります。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13	0	0	2		事業所にお越しいただく機会を設け、バリアフリー化ができていない様子を見ていただきます。お便りなどで、事業所の様子を伝えていく必要性を感じました。計画いたします。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	13	1	0	1		丁寧な清掃を心掛け、清潔感を維持していきます。常に、活動の中身と施設空間が乖離しないよう、考慮していきます。
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画が作成されているか	12	2	0	1		ニーズとその背景にある主訴を聞き分ける様努力し、問題点、課題点をみつけ、作成しています。
	⑥	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11	3	0	1		短期目標、中長期目標とに分けるようにし、また抽象的な表現を避けるように作成しています。
	⑦	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	12	1	1	1	面談では意見を伝えられている。	ひとり一人のニーズに合わせた支援を、活動のなかで取り組めるように計画実践しています。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	12	2	1	0		ひとり一人の「やりたいこと」を活動に取り入れられるよう、努めていきます。
	⑨	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	12	0	2	1		一般学童や児童館との交流については、課題点になっています。現在、児童館に実績の情報交換依頼をしており、今後実践できる方法を模索していきます。
保護者 への 説明等	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	1	2	0	交流会に参加できていない。	コロナ禍のため、丁寧な説明を行う機会を逃したままになっています。改善を行っていきます。
	⑪	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら、支援内容の説明がなされたか	12	1	1	1	交流会に参加できていない。	コロナ禍のため、丁寧な説明を行う機会を逃したままになっています。改善を行っていきます。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	10	1	1	3		子どもの成長の喜びを保護者と共有し、悩みなどの不安を解消できるように、日々努めるようにしています。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	11	2	1	1		特に気になる点などは、保護者との情報共有をするようにしています。成長については、ともに喜びあえる意識をもつ職員集団です。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	1	1	1		今年度は、コロナ禍の影響により、面談が行っていません。年度末までに、面談の機会を設けていきます。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12	0	1	2		今年度は、コロナ禍の為、保護者にアンケートを行い、親子イベントの計画を中止しました。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	12	1	0	2		今後も、子どもや保護者からの相談や苦情に対して、真摯に向きあい、迅速に適切に対応するように、努めていきたいと思っています。

	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	12	2	0	1	保護者との連絡、連携に際して、満遍なく情報の提供を行う配慮をしています。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	13	0	0	2	このアンケート結果は、ホームページにおいて、開示されます。また、行事予定や活動報告に対しては、より丁寧な発信が必要と感じています。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	14	0	0	1	個人情報の取り扱いについては、特に重要課題として取り組んでいます。
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	9	2	0	4	各マニュアルの配布を行い、情報の共有を行います。特に、広域災害時には、保護者との連絡、連携のあり方を改めて構築いたします。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	2	0	6	次年度は、月1回「訓練の日」を設け、災害発生に備え、定期的な訓練の実施を行います。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	12	2	1	0	一人ひとりの子どもの「楽しみ」を理解して、今後の活動につなげていきたいと思っています。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	13	1	1	0	保護者のニーズを改めて理解し、今後の支援体制を改善していきます。

- この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援・放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。